

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		私道管渠整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	管理工務班
課長名	久留 伸二		担当者名	前田 圭亮		
内線	1197		成果優先度評価結果			
コスト削減優先度評価結果			法令根拠	下水道法、私道への下水道設置要綱(平成18年訓令第66号)		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・受益地2筆以上の私道において、市民からの申請により下水道管渠を設置する。・単独公共下水道・S52年、特定環境保全公共下水道・S58年、流域関連公共下水道・S59年に事業認可を受け、公共用水域の水質保全と生活環境の向上のために事業着手した当時より市民の要望により実施している。・問題の無い箇所についてはほぼ整備済みである。(基本的に申請事業である)
【業務の流れ】	・①受益者代表より申請書一式の受付②測量設計委託契約③実施設計の作成④工事請負契約の締結⑤下水道工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	・工事請負費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・希望者から、私道及び受益地の所有者間で、承諾がとれず申請できないが整備してほしいという声がある。(持分登記等全員の承諾が必要)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
私道への下水道管渠整備事業であり、意図を同一とする公共下水道管渠整備事業として事業に取り組んだ。	対象が私道に面している宅地であり、公共下水道管渠整備事業の対象である公共下水道事業区域の世帯に包含され、意図も同一であるため、公共下水道管渠整備事業に統合する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 管渠布設延長 m	
イ: 整備面積 ha	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・私道に面している宅地	→ ア: 対象世帯数 戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・水洗化が可能となる・生活環境の改善	→ ア: 下水道普及率(対行政人口) %
	イ: 水洗化率(対戸数) %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
私道に下水道管を布設することにより下水道普及率の向上につながるため	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	m	0	0	0	0	0	0	0
	イ	ha	0	0	0	0	0	0	0
	② 対象指標	ア	戸	0	0	0	0	0	0
③ 成果指標	ア	%	95.1	95.1	0	0	0	0	0
	イ	%	94.9	95.2	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	3,567					
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	3,567	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	0	0	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	447	0	0	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	1,788	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,355	0	0	0	0	0	0	

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	私道管渠整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)
 *原則は22年度事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 申請がなかったため
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 ・申請に対し、予算額の確保が課題であるが、年度内の実施を調整することで目標達成の見込みがある。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・市全体の整備率が98%であり、成果の向上余地がある。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ・類似事業が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・市民より申請時業であり計画的な事業執行(同時発注等)が出来ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・申請事業であり実働の業務時間であり削減の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ・応分の受益者負担があり適切である。・m ² 当たり330円の受益者負担をいただいております、公平である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 下水道管渠整備事業はインフラ整備であり、行政が行う事業である。そのため役割分担は適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

申請がなかった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						